

1. 未来ビークルシティリサーチセンター第19回シンポジウム開催報告

未来ビークルシティリサーチセンター
低炭素社会と産業育成コア
電気・電子情報工学系 教授 櫻井 庸司

低炭素社会実現に向けて、高性能二次電池を用いた環境先進車両や自然エネルギー発電電力貯蔵システムの開発とその実用化・普及促進が、これまで以上に求められています。このような背景の下、平成27年12月3日に本学において、「電池が支える地域社会の未来のかたち」と題して、未来ビークルシティリサーチセンター第19回シンポジウムを開催致しました（別添プログラム参照）。



高見 則雄 氏
(東芝 (株))

今回のシンポジウムでは、車載用・定置用それぞれの用途に合わせて設計された高性能二次電池の開発・応用状況、二次電池に蓄えられた電力を家庭・町で有効活用する仕組み、それらを地域社会で組み合わせてスマートコミュニティーを形成する取り組み事例について、この分野の第一線でご活躍中の方々にご講演頂きました。



梅岡 尚 氏
(積水化学工業 (株))

まず始めに、「車載用および定置用蓄電システム向けチタン酸リチウム負極系リチウムイオン電池の実用化と展望」と題して、東芝 (株) 高見氏より、リチウムイオン電池の動作原理からその応用に至るまでのお話を伺いました。続いて、積水化学工業 (株) が推進しているV2Hおよび家庭・町のエネルギーマネジメントについて、積水化学工業 (株) 梅岡氏にご紹介頂くとともに、豊田市役所 酒井氏に、豊田市でこの5年間展開されたスマートコミュニティー形成プロジェクトの総括および今後の低炭素社会づくりのあり方についてご講演頂きました。



酒井 斉 氏
(豊田市役所)

当日は、学外から35名、学内から103名、計138名の参加者があり、質疑応答においても活発な議論がなされ、盛会のうちに講演会を終了致しました。

末尾ながら、本シンポジウム開催に当たりご協力頂きました関係各位に厚くお礼申し上げます。

「電池が支える 地域社会の未来のかたち」

低炭素社会実現に向けて、高性能二次電池を用いた環境先進車両や自然エネルギー発電電力貯蔵システムの開発とその実用化・普及促進が、これまで以上に求められています。

本シンポジウムでは、車載用・定置用それぞれの用途に合わせて設計された高性能二次電池の開発・応用状況、二次電池に蓄えられた電力を家庭・町で有効活用する仕組み、それらを地域社会で組み合わせてスマートコミュニティを形成する取り組み事例について、これら分野の第一線でご活躍中の方々にご講演頂きます。

日時：平成27年12月3日（木） 13:30～16:20

会場：豊橋技術科学大学 A-101講義室

（地図：<http://www.tut.ac.jp/about/campusmap.html>）

参加費無料 どなたでもご参加頂けます

主催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター

後援：豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会、東三河産業創出協議会

協賛：電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、IEEE名古屋支部、自動車技術会

申込先：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター
(研究支援課研究センター係)

TEL : 0532-44-6574 FAX : 0532-44-6568

e-mail : rcfvc@office.tut.ac.jp



★裏面の参加申込書で事前にお申し込みください

プログラム

- 13:30~13:35 開会挨拶**
豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授
／未来ビークルシティリサーチセンター長 大平 孝
- 13:35~14:25 【講演 1】**
「**車載用および定置用蓄電システム向けチタン酸リチウム負極系
リチウムイオン電池の実用化と展望**」
東芝（株） 研究開発センター 首席技監 高見則雄 氏
- 14:25~14:35 休憩**
- 14:35~15:25 【講演 2】**
「**積水化学が進めるV2Hおよび家庭・町のエネルギーマネジメント**」
積水化学工業 R&D センター
開発推進センター EMSグループ 参事 梅岡 尚 氏
- 15:25~16:15 【講演 3】**
「**豊田市が進める低炭素社会づくりーミライのフツーを目指そうー**」
豊田市 企画政策部 環境モデル都市推進課 主幹 酒井 斉 氏
- 16:15~16:20 閉会挨拶**
豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 櫻井庸司

世話人・問合せ先 : 豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 櫻井庸司
e-mail: sakurai@ee.tut.ac.jp , Tel./FAX: 0532-44-6722

参加申込書

以下の内容を F A X または e-mail でご連絡ください。

【申込先】 未来ビークルシティリサーチセンター（研究支援課研究センター係）

FAX : 0 5 3 2 - 4 4 - 6 5 6 8 e-mail : rcfvc@office.tut.ac.jp

お名前			
所属・役職			
T E L		F A X	
e-mail			

* 参加申込〆切: 平成 27 年 11 月 26 日 (木) ただし, 事前申込みがなくてもご参加いただけます。